

PTA通信 4

義援金を、ありがとうございました！

65,500
円

の善意が集まりました。本当に、感謝いたします。



被災された方々は大変な思いをされていると思います。一刻も早く届けたいのですが、「障がい児者やその家族・支援学校を対象」として、送るには手続きがあります。これから実態の把握、送金先の選定をしていきます。この作業は茨城県の特別支援学校PTAの理事会で動いていただきます。

しかし、災害はいつ起こるか分かりません。この夏、激しい雨で災害にならないように祈っています。また、地震の予測も、関東はかなり危険です。

7月14日の参観日に、研修委員会で家族4人分の3日間の非常食を展示していたのをご存知でしょうか？他人ごとではなく、是非一回そろえてみましょう。そのあとは、ローリングストック（期限切れ前に食べて、その分補充）するだけです。ダイエットと同じ、明日やるのではなく今思った時にやりましょう。



災害時のヘルプカードについても、県で統一できないかを検討していこうと思っています。でも、知らないと使わないし、広まっていきません。どうぞ、関心をもってください！

先日の環境整備にご協力を頂き、ありがとうございました。58名の保護者のご参加でした。駐車場とロータリーの境目にプランターをPTAで購入させていただきましたので、植え込みの作業と、運動会に向けて校庭の除草作業をしました。また、当日は高等部のワンダフル（3・4コースの生徒の皆さん）も作業を一緒にしていただきました。

今年度は、作業後に中学部・高等部の作品販売の時間があり、とてもよい時間になったと思います。
学校のご協力にもとても感謝いたします。



* 全国大会報告 *

さて前後しましたが、8/18～19に全国特別支援学校知的障害教育校PTA全国研究協議会に参加いたしました。場所は京都です。今年は猛暑でしたが、この日はさわやかな気候で、京都の町を歩けました。

テーマは昨年度から「多様性を認め合い共に育む心のネットワーク～すべては子供たちの笑顔のために～」です。地元の方が多いいえ、1000名を超える楽しい方たちに出会える会でした。

文科省、厚生労働省が把握している方たちということに驚きました。「頭は良いけど、分かっていない」と勝手に思っていたが、大間違いでした。全国から任期付で、優秀な人材を集めて政策を考えていることをご存知でしたか？

文科省から（文部科学省 初等中等教育局 特別支援教育課 特別支援教育調査官 中村大介様）

まずは現状。平成29年5月1日現在で義務教育段階の全児童生徒数は減少↓ですが、特別支援教育対象の児童生徒は増加↑。初めて全体の4パーセントを越えました。障害種別では特に知的の子が増えています。

教室が足りていないこと、教員の専門性についても国は現状を把握していますし、そのための法整備をするのが国の役割です。

子どもの数が減っている中で、どのくらい支援が必要な子が推測することが出来ないのも、市町村で教室の数の不足に動くのが遅くなっているのが多いだろうとのこと。土地と、お金の問題は市町村が抱える問題として深刻です。

今後の取組 予算をきちんとおさえて研究調査するもの （文科省のホームページは面白いです。時間があるときに見てください）

- 心のバリアフリーに関する事業…交流及び共同学習ガイド、家庭・教育・福祉の連携
- 特別支援学校等における障害者スポーツの充実、文化芸術活動の充実
- 高等学校においての通級の制度化

厚労省から（厚生労働省 社会・援護局 障害保険福祉部 障害福祉課 障害児・発達障害者支援室 鈴木久也様）

平成30年は制度の節目の年だそうです。24年、26年の改正があって、見直しをする時期です。このようなものが見直されるそうです。

- 今まで訪問リハだけだったのが、児童発達支援も家に訪問で行うサービスを設ける。
- 保育所訪問支援の拡大
- 障害児のサービス提供体制が大人はあったのですが、子どもはない障害児福祉計画を行う。

皆さんに関係する内容として、放課後等ディサービスについて。質の向上のために以下に取り組むそうです。

- 管理責任者の資格要件の見直し。
- 人員配置の見直し
- 運営基準の見直し



- ・市町村自立支援協議会、というのが法定化されて、きちんと設けなければならなくなりました。これは地域づくりの中核という位置づけです。
- ・また、家族支援という視点が明文化されました。

今回の全大会の助言者として、NPO法人さくらネット代表理事 石井布紀子さんが感動の方でした。阪神淡路大震災から立ち上がり、東日本、熊本、西日本豪雨等災害対応のマネジメントをされている実績の長い団体です。とにかくフットワークが軽く、タフですが可愛い女性の方でした。特別支援に限らない支援をされていましたが、特別支援学校での防災の取組について、大変感心され、「防災提言」を発表されました。



分科会では防災に関するところに参加しました。

興味を持ったのは、非常食を母目線で、どこでいくらでどんなものが売っているかを集めて試食するという取組でした。値段もついていて、生活に密着しているなあと感心しました。自分たちが住んでいる地域のお店で買うことが良いですね。色々と食べてみる機会はなかなかないものです。

また、地域に住んでいる防災士さんを巻き込んだ活動も興味を持ちました。

引き渡して使える技は「その場で写真を撮る」というものでした。時系列にスマホに取っていけば何時にどんな人に渡したかという記録になります。これは現実的に有効です。いちいち名前をいったり、確認を取ることが難しい場合に知っておきましょう。

サポートファイルについては、避難の際に使うものと、避難生活で使うものと別にしたほうがよいとのことでした。



◆11/22に進路委員会主催の施設見学があります♥

◆各地区のふれあいも、楽しく行っています。みなさま、参加して良かった(^_^)となればうれしいです。

お知らせ